

《令和4年度 まちづくり協働部 組織目標の達成状況》

主 令和4年度当初予算概要「主な事業の概要」に関連する項目には、「4. 課題解決に向けた令和4年度の具体的な取組」欄に、左の記号を記載しています。

◆目標管理者

部長	高岡 良秀
理事	岡田 芳治

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	2. 重点目標	3. 目標達成のための取組と成果目標	4. 課題解決に向けた令和4年度の具体的な取組 【年度末実績】
<p>・行政や地域を取巻く環境が大きく変貌してきており、市民と行政の適切な役割分担のもと自助、共助、公助による、協働のまちづくりが求められています。</p> <p>1 ・区域を代表する総合的な自治組織であるまちづくり協議会が中心となり、地域まちづくりセンター等を活用し、様々なまちづくり活動が展開されています。まちづくり協議会の役割や意義を再確認し、地域の主体的な意思決定による更なる市民自治の成熟化を図っていく必要があります。</p>	<p>① まちづくり協議会や基礎的コミュニティである町内会、市民公益活動団体、教育機関、中間支援組織等の多様な主体との連携・協力による「協働のまちづくり」を推進します。</p> <p>・まちづくり協議会が中心となって地域のまちづくり計画を実行できるよう、まちづくり協議会の運営や活動を総合的に支援します。</p>	<p>【取組】 協働のまちづくり条例に基づき策定した「第2次草津市協働のまちづくり推進計画」に沿って事業を推進します。(事業費 2,031千円)</p> <p>【成果目標】 協働のまちづくり推進計画の進捗管理を実施します。</p>	<p>① 【取組実績】 「第2次草津市協働のまちづくり推進計画」に基づき、協働のまちづくりに向けた取組を進めました。特に、市民総合交流センターでは、協働事業の実現を目指したラウンドテーブルを年間7回開催し、様々な主体がつながる場づくりを行いました。 また、協働のまちづくり・市民参加推進評価委員会において計画の進捗管理を行いました。(事業費 1,961千円)</p> <p>【成果目標実績】 協働のまちづくり・市民参加推進評価委員会を3回開催し、協働のまちづくり推進計画に基づく事業の進捗管理を行いました。</p>
<p>2 価値観の多様化やライフスタイルの変化等により地域コミュニティに対する関心や関わりが希薄化し、町内会役員の高齢化や担い手不足も問題となっています。</p> <p>地域における適切な組織体制や活動参加を促す事業を検討する必要があり、また、地域に対する負担軽減など行政と町内会との関係性を再確認する必要があります。</p>	<p>② コミュニティの維持と活性化のため、地域の実態やニーズの把握に努め、よりよい組織体制や事業運営となるよう、地域課題解決応援交付金を活用した学区まち協の有償による登録サポーター制度の設立などを検討し、役員や地域への負担軽減等、まちづくり協議会による各町内会支援につながるよう支援します。</p>	<p>【取組】 町内会への加入促進、活動の維持・活性化、担い手の確保や組織、事業運営等の諸課題について地域と共有し、町内会の取り組みに対して必要な支援を行うとともに、市から町内会への依頼事項の適正化を継続して進めます。</p> <p>【成果目標】 町内会の活動に参加している市民の割合 令和4年度 47.3%(令和3年度 45.8%)</p>	<p>③ 【取組実績】 町内会運営や活動に対し財政的な支援を行ったほか、運営等に対する助言を随時行いましたが、コロナ禍の影響による町内会活動の自粛や地域コミュニティに対する関心や関わりが希薄化、町内会役員の高齢化や担い手不足などにより、成果目標実績は未達成となりました。 また、市自治連合会の自治振興の機能をまちづくり協議会連合会に継承し、地域における役員の担い手不足や負担軽減等の町内会の諸課題について議論を行い、情報の共有に努めるとともに、町内会における住民ニーズの把握に向け「住民向けアンケート(雛形案)」の作成を行いました。</p> <p>【成果目標実績】 町内会の活動に参加している市民の割合 令和4年度 45.5%</p>
<p>3 地域まちづくりセンターの一部については、建築後相当年数が経過し、施設の老朽化が進んでいるため順次改築する必要があります。令和4年度は笠縫東まちづくりセンターの改築に伴う設計を行います。</p>	<p>③ 地域のまちづくり拠点として、住民主体のまちづくりが展開されるよう、地域ニーズを踏まえた設計を進めます。</p>	<p>【取組】 笠縫東まちづくりセンターの設計に着手します。地域との協議を重ねながら、地域の特色を反映できるよう調整を図ります。</p> <p>(事業費) ・実施設計費 29,270千円 ・その他事務費 240千円</p> <p>【成果目標】 笠縫東まちづくりセンターの実施設計の完了</p>	<p>主 ④ 【取組実績】 笠縫東学区まちづくり協議会からの寄附金により、新センター整備用地を取得し、地域まちづくりセンターとしての機能を高めたいという提案を受け、当該用地の測量や不動産鑑定を実施し、地域や地権者、関係機関との調整を行うとともに、整備年度の見直しを行いました。 (事業費) ・不動産鑑定評価 504千円 ・用地測量業務 773千円</p> <p>【成果目標実績】 新センター整備用地の取得に向けた調整のため、整備年度の見直しを行ったことに伴い、実施設計業務については、令和5年度に実施しました。</p>
<p>4 ・少子高齢化の進展や世帯構造が変化の中で、福祉や災害時の高齢者支援など、行政だけ、市民だけでは解決できない地域課題が増大しています。</p> <p>・地域課題を他人事とせず、地域住民が支えあい、多様な主体が協働し、安心して暮らすことのできる「地域共生社会」の実現に向け、市民公益活動を推進します。</p>	<p>④ 市民公益活動を推進するため、第6次草津市総合計画第1期基本計画および第2次草津市協働のまちづくり推進計画に基づき、本市の中間支援組織として指定した(公財)草津市コミュニティ事業団等と連携し、地縁型およびテーマ型の市民公益活動団体への各種支援策の充実に向け取り組めます。</p>	<p>【取組】 市民公益活動団体を支援する補助金制度、講座、交流イベント等を展開する(公財)草津市コミュニティ事業団の活動を支援します。</p> <p>(事業費) (公財)草津市コミュニティ事業団運営費補助金 80,425千円 (うち事業費補助金 3,489千円)</p> <p>【成果目標】 市民活動等の団体数 令和4年度 280団体 (令和3年度 271団体)</p>	<p>⑤ 【取組実績】 中間支援組織である(公財)草津市コミュニティ事業団が行う各種事業に対し補助を行い、テーマ型と地縁型、双方の市民活動への支援を行いながら、地域コミュニティの振興を図るという目標を踏まえ、地域まちづくり協議会や立命館大学の学生等の参画を促し、多様な主体が協働する機会の創出を行いました。 (事業費) (公財)草津市コミュニティ事業団運営費補助金 72,581千円 (うち事業費補助金 3,170千円)</p> <p>【成果目標実績】 市民活動等の団体数 令和4年度 277団体</p>

